

令和4年度 江東商業高等学校 年間授業計画（1学年用）

教科：（ 商業 ） 科目：（ 簿記 ） 単位数：（ 4単位 ） 対象：（ 第1学年 A組～E組 ）

教科担当者：（ A組：新井・舟屋 ）（ B組：山田康・舟屋 ）（ C組：花香・深川 ）（ D組：藍澤・花香 ）（ E組：片岡・椎名 ）

使用教科書：（ 商業709 新簿記 実教出版 ）

教科・科目の目標：

- 商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、取引の記録と財務諸表の作成に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
- (1) 簿記について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
 - (2) 取引の記録と財務諸表の作成の方法の妥当性と課題を見いだし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応する力を養う。
 - (3) 企業会計に関する法規と基準を適切に適用する力の向上を目指して自ら学び、適正な取引の記録と財務諸表の作成に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

評価の観点：

【知識・技能】：知	【思考・判断・表現】：思	【主体的に学習に取り組む態度】：主
簿記の各単元の内容について、仕訳で表すことができたかにより、理解度を測定して評価する。	簿記の各単元の知識・技能を基に、仕訳以外の各帳簿・財務諸表に表現することができたかにより、測定し評価する。	簿記の学習に対して、継続的に取り組むことができたかにより測定する。主として、課題の提出により測定し、評価する。

	単元項目	学習内容	評価規準	評価の観点			配当 時数
				知	思	主	
1 学 期	第1編 簿記の基礎 第1章 簿記の基礎 第2章 資産・負債・純資産と貸借対照表 第3章 収益・費用と損益計算書	<ul style="list-style-type: none"> 簿記の意味・目的を明らかにし、記帳の重要性を理解させる。 資産・負債・純資産（資本）の意味を明らかにし、これらの相互関係を理解させる。 貸借対照表の意味・形式などを明らかにし、その作り方に習熟させる。 純損益を計算する方法（財産法）を理解させる。 収益・費用の意味を明らかにし、純損益を計算する方法（損益法）を理解させる。 損益計算書の意味・形式などを明らかにし、その作り方に習熟させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 簿記の基礎的な知識を身に付けたか。 資産・負債・純資産（資本）の種類、貸借対照表の構造や役割、財産法の仕組みを理解したか。 簿記の基礎概念として資産・負債・純資産が何かを思考し、それぞれの区分を適切に判断し、適切に表現できたか。 収益・費用の種類、損益計算書の構造や役割、損益法の仕組みを理解したか。 簿記の基礎概念として収益・費用が何かを思考し、それぞれの区分を適切に判断し、適切に表現できたか。 収益・各学習項目に対する意欲、態度として、課題等に取り組んだか。 	○	○	○	8
	第4章 取引と勘定 第5章 仕訳と転記 第6章 仕訳帳と総勘定元帳 第7章 試算表	<ul style="list-style-type: none"> 取引により、資産・負債・資本が増減することを理解させる。 勘定・勘定科目・勘定口座などの意味を理解させる。 勘定口座の形式、記入法に習熟させる。 取引を分解して、勘定に記入する方法を理解・習熟させる。 貸借平均の原理を理解させる。 仕訳の意味を明らかにし、各種の取引の仕訳に習熟させる。 仕訳を勘定口座に転記する方法を理解させ、習熟をはかる。 仕訳帳の形式・記入法を理解させ、記帳に習熟させる。 総勘定元帳の意味を明らかにし、仕訳帳からの転記のしかたに習熟させる。 試算表の役割・種類・それぞれの特徴などを明らかにし、その作り方に習熟させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 簿記上の取引の意味を理解しているか。 取引の分解と勘定記入について適切に判断し、正確におこなえているか。 貸借平均の原理について関心を示し、把握しようとする態度が見られたか。 仕訳の手順を理解しているか。 転記について適切に判断し、正確におこなえているか。 企業の取引を仕訳することに関心を示し、仕訳と転記にも自ら進んで取り組もうとしたか。 仕訳帳と総勘定元帳の意味と記帳法を理解し、記帳を適切に判断し、正確におこなえているか。 試算表の意味と作成法を理解しているか。 試算表の種類について思考し、適切に作成できたか。 試算表がなぜ必要か考え、その役割について関心をもち、把握しようとする態度を示したか。 各学習項目に対する意欲、態度として、課題等に取り組んだか。 	○	○	○	10
	第2編 取引の記帳（その1） 第10章 現金・預金などの取引	<ul style="list-style-type: none"> 現金に関する記帳方法と現金出納帳の記帳方法について理解させる。 現金過不足の処理法を理解させる。 当座預金勘定の記帳方法と当座預金出納帳の記帳方法について理解させる。 小口現金のシステムを理解させ、その記帳方法と記帳の習熟をはかる。 	<ul style="list-style-type: none"> 現金・預金の取引に関する基本的な内容とその記帳法を理解して、基礎的な技術を身に付けたか。 現金・預金の取引について、その記帳に関して、自ら考えを深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、表現する能力を身につけたか。 現金・預金の取引に関心を高め、その記帳処理の学習を積極的に進めようとしているか。 各学習項目に対する意欲、態度として、課題等に取り組んだか。 各学習項目に対する意欲、態度として、課題等に取り組んだか。 	○	○	○	8
	第11章 商品売上の取引 第12章 掛け取引	<ul style="list-style-type: none"> 分記法の復習から3分法による商品売上の記帳方法を理解させる。 仕入帳・売上帳・商品有高帳の役割と記帳方法を明らかにし、その記帳の方法に習熟させる。 商品有高帳については、先入先出法と移動平均法を理解させる。 売上原価を計算し、商品売買損益を計算する方法について明らかにする。 掛け取引の意味を明らかにし、売掛金勘定と買掛金勘定の記帳方法を理解させる。 人名勘定の意味を明らかにする。 売掛金元帳と買掛金元帳の役割を明らかにし、その記帳に習熟させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 商品売上の取引に関する基本的な内容とその記帳法を理解して、基礎的な技術を身に付けたか。3分法による記帳法や仕入帳・売上帳、商品有高帳に関する知識とその記帳法を理解したか。 商品売上の取引について、その記帳に関して、自ら考えを深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、表現する能力を身につけたか。 商品売上の取引に関心を高め、その記帳処理の学習を積極的に進めようとしているか。 掛け取引に関する基本的な内容とその記帳法を理解して、基礎的な技術を身に付けたか。 掛け取引の記帳に関して、自ら考えを深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、表現する能力を身につけたか。 掛け取引に関心を高め、その記帳処理の学習を積極的に進めようとしているか。 各学習項目に対する意欲、態度として、課題等に取り組んだか。 	○	○	○	10

2 学 期	第13章 手形の取引 第14章 その他の債権・債務の取引	<ul style="list-style-type: none"> ・手形の種類を明らかにする。 ・約束手形のしくみと記帳方法を理解させ、各種取引の記帳方法について習熟させる。 ・手形記入帳の役割と記帳方法を理解させる。 ・売掛金・買掛金・受取手形・支払手形以外の各種の債権・債務について、その記帳方法や違いなどを理解させる。 ・各種の債権・債務の記帳に習熟させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・手形の取引に関する基本的な内容とその記帳法を理解して、基礎的な技術を身に付けたか。 ・手形に関する記帳に自らの思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、表現する能力を身につけたか。 ・手形の取引に関心を高め、その記帳処理の学習を積極的に進めようとしているか。 ・その他の債権・債務の取引等に関する基本的な内容とその記帳法を理解して、基礎的な技術を身に付けたか。 ・その他の債権・債務に関する記帳に自らの思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、表現する能力を身につけたか。 ・その他の債権・債務の取引に関心を高め、その記帳処理の学習を積極的に進めようとしているか。 ・各学習項目に対する意欲、態度として、課題等に取り組んだか。 	○	○	○	10
	第15章 固定資産の取引 第16章 個人企業の資本の取引	<ul style="list-style-type: none"> ・固定資産の意味と種類を明らかにし、固定資産に関する記帳方法を理解させる。 ・固定資産台帳の役割を明らかにする。 ・個人企業における資本の元入れ、引き出しなどの記帳方法を理解させる。 ・引出金勘定を用いた場合の記帳方法を理解させる。 ・所得税と住民税の納付は資本の引き出しにあたることを説明し、その記帳方法を理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・固定資産の取引に関する基本的な内容とその記帳法を理解して、基礎的な技術を身に付けたか。 ・固定資産の取引について、その記帳に関して、自ら考えを深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、表現する能力を身につけたか。 ・固定資産の取引に関心を高め、その記帳処理の学習を積極的に進めようとしているか。 ・個人企業の資本の取引等に関する基本的な内容とその記帳法を理解して、基礎的な技術を身に付けたか。 ・個人企業の資本に関する記帳に自らの思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、表現する能力を身につけたか。 ・個人企業の資本の取引に関心を高め、その記帳処理の学習を積極的に進めようとしているか。 ・各学習項目に対する意欲、態度として、課題等に取り組んだか。 	○	○	○	10
	第17章 販売費と一般管理費、税金の取引 第3編 決算（その1） 第18章 決算整理（その1）	<ul style="list-style-type: none"> ・販売費及び一般管理費の意味と記帳方法を理解させる。 ・個人企業に課せられる税金と消費税の記帳方法を理解させる。 ・決算整理の意味とその必要性を理解させる。 ・3分法による商品売買に関する勘定の整理、貸し倒れの見積り、減価償却の処理法を理解させ、その記帳に習熟させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・販売費及び一般管理費の取引等に関する基本的な内容とその記帳法を理解して、基礎的な技術を身に付けたか。 ・販売費及び一般管理費に関する記帳に自らの思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、表現する能力を身につけたか。 ・販売費及び一般管理費の取引に関心を高め、その記帳処理の学習を積極的に進めようとしているか。 ・決算手続きの意味を理解し、決算手続きに関する基礎的・基本的な知識を身に付けたか。 ・なぜ決算整理を行うのか、なぜこのように整理仕訳を行うのかなどについて思考し、財務諸表を活用して企業の状況について判断し、決算結果を財務諸表に明確に表現できる能力を身につけたか。 ・決算整理が企業の経営成績にどのような影響を与えるのに関心をもち、自ら考える態度を示したか。 ・各学習項目に対する意欲、態度として、課題等に取り組んだか。 	○	○	○	10
	第19章 8桁精算表第20章 帳簿決算 第4編 会計帳簿と帳簿組織 第21章 会計帳簿 第22章 伝票の利用	<ul style="list-style-type: none"> ・8桁精算表の意味を明らかにし、その作成に習熟させる。 ・帳簿決算の意味とその必要性を理解させる。 ・総勘定元帳の締め切りと、繰越試算表・貸借対照表・損益計算書の作成に習熟させる。 ・いままで学んだ帳簿の種類をあげ、分類させてみる。 ・分譲制度と帳簿組織との関連について理解をはかる。 ・証ひょう・伝票の意味とその役割を明らかにする。 ・3伝票を用いた場合の起票や集計方法のルールを理解させ習熟をはかる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・8桁精算表の意味を理解し、作成方法について基礎的・基本的な知識を身に付けたか。 ・帳簿決算の意味を理解したか。 ・総勘定元帳の締め切りと、繰越試算表・貸借対照表・損益計算書の作成について基礎的・基本的な作成方法が身についたか。 ・決算整理を含んだ帳簿決算について、一定の方法に従って判断処理しているか。 ・仕訳帳との違いを含めて伝票の意味と作成方法を理解しているか。 ・伝票の起票、集計・転記が適切にできるか。 ・入金取引・出金取引・その他の取引にどの伝票を用いるかの判断を通じて、記帳の合理化を考えることができるか。 ・伝票による取引の記帳法と集計・転記に関心を高め、その記帳処理の学習を積極的に進めようとしたか。 ・各学習項目に対する意欲、態度として、課題等に取り組んだか。 	○	○	○	12
全商簿記検定試験への応用	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでに学習した内容を、検定の問題において、活用して解法をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでに学習した内容を、検定の問題において、活用して解法をするために、粘り強く繰り返し取り組んでいるか。 ・検定問題を解法することができたか。 				12	
3 学 期	第5編 取引の記帳（その2） 第24章 特殊な手形の取引 第25章 有価証券の取引 第26章 本店会計 第27章 （発展学習）最近の実務に広がる取引 第6編 決算（その2） 第28章 決算整理（その2） 発展編 株式会社の取引 第29章 株式会社の取引と財務諸表	<ul style="list-style-type: none"> ・営業外受取手形と営業外支払手形の意味を明らかにし、その記帳方法を理解させる。 ・有価証券の意味と計算のしかた、買い入れたとき、売却したときの記帳方法を理解させる。 ・本支店合併の損益計算書・貸借対照表の作り方を理解させ、その作成に習熟させる。 ・クレジット売掛金と電子記録債権・電子記録債務の意味を明らかにし、理解させる。 ・費用・収益の繰り延べ・見越しや切手・はがきなどの未使用分の意味とそれぞれの記帳方法を理解させ、習熟をはかる。 ・減価償却の間接法、有価証券の評価替えなどの記帳方法を理解・習熟させる。 ・費用・収益の繰り延べ・見越し、間接法、有価証券の評価などを含めた財務諸表の作成について習熟させる。 ・株式会社の設立と株式の発行時の記帳方法を理解させる。 ・純利益の計上と剰余金の配当および処分に関する取引の記帳方法を理解させる。 ・法人税・住民税・事業税の記帳方法を理解させる。 ・株式会社の財務諸表の作成に習熟させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・営業外受取手形と営業外支払手形の取引に関する基本的な内容と記帳法を理解したか。 ・有価証券の取引に関する基本的な内容とその記帳法を理解したか。 ・有価証券とその他の手形取引に関する記帳に自らの思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、表現する能力を身につけたか。 ・本支店間の取引、支店相互間の取引などに関する基本的な内容を理解して、基礎的な技術を身に付けたか。 ・本支店の合併貸借対照表と合併損益計算書について基本的な内容を理解し、作成法を身に付けたか。 ・クレジット売掛金と電子記録債権・電子記録債務の取引に関する基本的な内容とその記帳法を理解したか。 ・費用・収益の繰り延べと見越し、切手・はがきなどの未使用分の処理、有価証券の評価、間接法による減価償却の記帳などに関する基礎的・基本的な技術を身につけたか。 ・費用・収益の繰り延べ・見越しなどを含んだ財務諸表について自らの思考を深め、適切に作成できているか。 ・株式会社の設立と株式の発行について、基本的な内容を理解したか。 ・株式会社の純利益の計上・剰余金の配当と処分・税金の会計処理について、基本的な内容と記帳法を理解したか。 ・株式会社の財務諸表の作成について、自らの思考を深め、適切に作成しているか。 ・これまでに学習した内容を、検定の問題において、活用して解法をする。 				20
	合計						110